

地方CR活動

北九州協会

障がい者・高齢者・こども食堂支援

「日本ふうせんバレーボール協会」へ活動助成金を寄付しました

北九州協会（会長：雨宮 進 第一生命 北九州総合支社長）では、今年度加盟する会員会社の3,220名の職員・営業職員から寄せられた募金の一部から、障がい者支援団体である「日本ふうせんバレーボール協会」へ活動助成金として10万円を寄付しました。

11月19日に北九州協会事務室にて、甲斐 CR 担当副会長(住友生命 北九州支社長)より「日本ふうせんバレーボール協会」の会長へ目録を贈呈しました。

「ふうせんバレーボール」は、1989年北九州市で誕生した『障がいのある、なしに関わらず、子どもから高齢者まで、一緒にプレーできる』6人制のバレーボールです。

1990年以降毎年、北九州市で「全国ふうせんバレーボール大会」が開催されており、当会ではその運営費用を支援し続けています。

近年は海外からのチームの参加も増えており、今年度は12月1日に北九州市立総合体育館にて「第1回東アジアふうせんバレーボール大会」として開催されます。

